

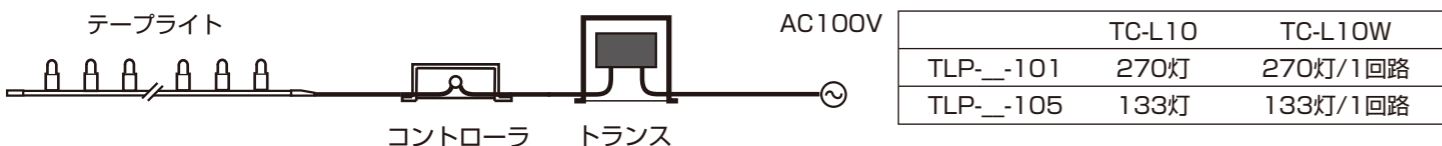
調光について



注意 調光は巻線トランスに適合した調光器・ライトコントローラをご使用ください。適合しない機器を使用した場合、正常に動作しない、または調光器やトランスが故障する場合があります。

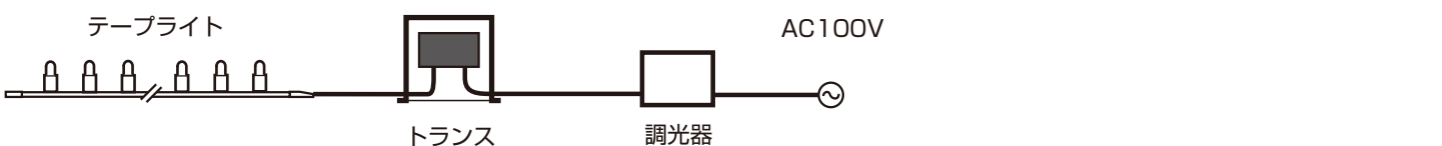
●2次側調光器

・右表に示す、コントローラ1台の使用可能灯数の範囲内でご使用ください。



●1次側調光器

ローボルトトランス対応の1次側調光器と巻線トランスの組み合わせで調光が可能です。利用できる調光器については弊社カタログまたはホームページをご参照ください。また、調光器には最大負荷が設定されていますので、必ずご確認の上ご利用ください。



・最大負荷時や調光時には、トランスから小さなうなり音が出る場合がありますがトランスの異常や故障ではありません。

(※)調光器の最新の対応状況は弊社HPをご覧ください、弊社までお問い合わせください。

推奨中間ケーブルと延長距離

電源の種類	器具・ランプ	白熱ランプ
LED用直流電源		-
巻線トランス		VCT2.0sq 18m

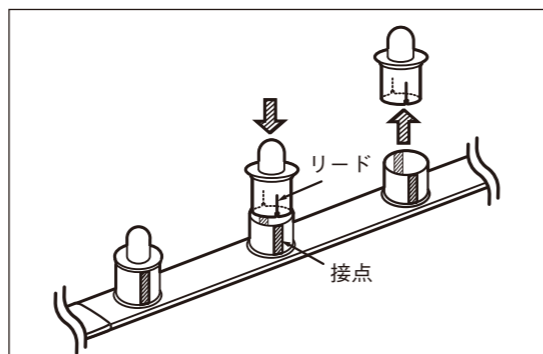
器具と離れた電源を中間ケーブルで接続することが可能です。中間ケーブルの推奨と延長距離は表をご参照ください。延長距離は最大容量の場合の目安の距離です。電源や電線の種類、灯数によってはより延ばせる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

ランプの交換について

・取り外し
ランプは真っ直ぐに引き抜いてください。スクリュー式ではありませんので、絶対に回さないでください。

・取り付け
取り付け前に交換するランプの種類をご確認ください。ソケットの接点とランプから出ているリードを合わせて挿入してください。

・交換できない場合には・・・
ランプを抜いたままの状態での通電は危険です。すぐに交換できない場合は、切れたランプは取り付けたままにしてください。



オプション

品名	品番
TLP用エンドキャップ(10個入り)	TL-ED10
強力両面テープ(幅12mm,長さ20m)	WM-1220
取付ブラケット(20個入り)	TP-01
強力両面テープ付クリアベース	CL-B-WM-1.25m
取付ブラケット(20個入り) クリアベース専用	TP-03

商品のお取り扱いに関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレ2F
Tel.03-5763-6121(代表) Fax.03-5763-6130 www.toki.co.jp/tokistar/

2024.5.14

NO.4/4

TOKISTAR

保管用 | 屋内専用

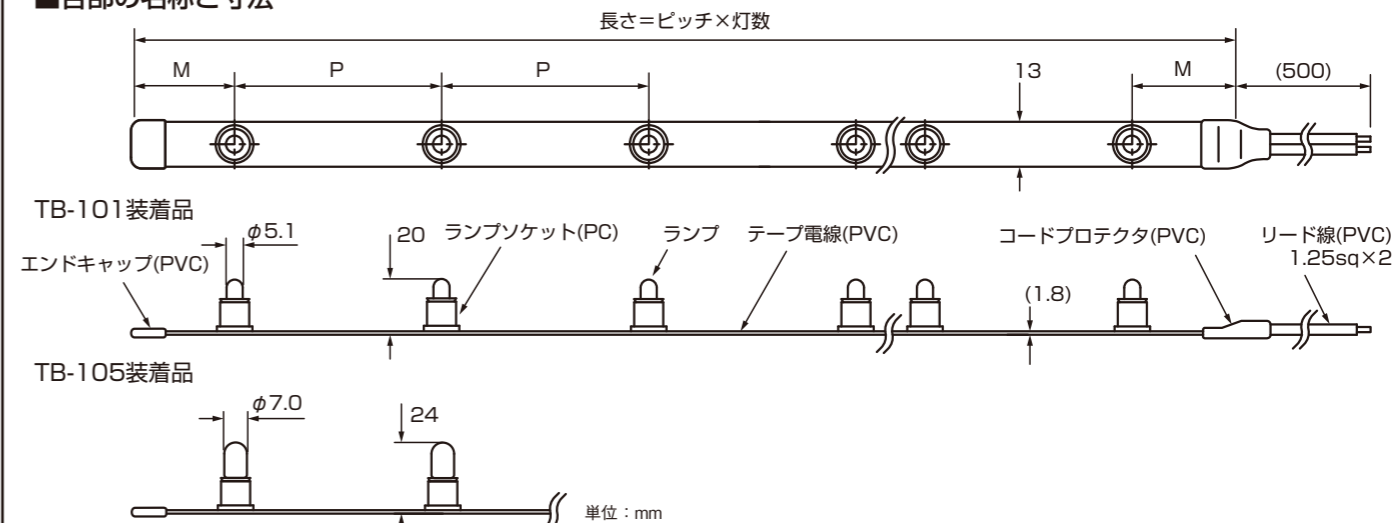
TAPELIGHT

TLP-_-_-

テープライト・白熱ランプ 屋内用

このたびはトキスター製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
なお本取扱説明書は大切に保管してください。

■各部の名称と寸法



●材質 ランプソケット：PC、エンドキャップ、コードプロテクタ：PVC
テープ電線：PVC、リード線：PVC (1.25mm²×2)

■製品仕様

TLP-_-101

定格電圧：AC24V
製品重量：約100g/m

装着ランプ：TB-101
定格電圧：AC24V
定格電流：約37mA
消費電力：0.89W
光束：1.8Lm

品番	P (mm)	M (mm)	最大長さ	推奨長さ
TLP-30-101	30±2	(25)	5.4 m	5.2 m
TLP-50-101	50±2	(25)	9.0 m	7.2 m
TLP-80-101	80±3	(40)	14.4 m	9.1 m
TLP-100-101	100±4	(50)	16.9 m	10.2 m
TLP-150-101	150±5	(75)	20.7 m	12.4 m

TLP-_-105

定格電圧：AC24V
製品重量：約100g/m

装着ランプ：TB-105
定格電圧：AC24V
定格電流：約75mA
消費電力：1.80W
光束：3.8Lm

品番	P (mm)	M (mm)	最大長さ	推奨長さ
TLP-30-105	30±2	(25)	2.6 m	2.5 m
TLP-50-105	50±2	(25)	4.4 m	4.2 m
TLP-80-105	80±3	(40)	7.0 m	6.4 m
TLP-100-105	100±4	(50)	8.8 m	7.2 m
TLP-150-105	150±5	(75)	13.2 m	8.8 m

■ご使用になる前に

- ・ご注文内容と添付の出荷案内書の記載内容に間違いが無いことをご確認頂き、商品の種類および数量が正しいことをご確認ください。
- ・各テープライトの長さや定格電圧はテープライトの入力側(リード線側)に表示してあります。
- ・出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封した時に製品が破損していた場合は速やかに販売店または弊社までお知らせください。
- ・一本あたりの最大長さは、上記の「■製品仕様」をご参照ください。

▲注意

- ・本製品は低電圧電源(AC24V)を定格としています。絶対に100Vを入力しないでください。また、故障や破損等のおそれがありますので、必ず弊社指定の電源をご使用ください。
 - ・灯具の取り付け、及び配線工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および、本説明書にしたがってください。(一般の方の電気工事は法律で禁止されています。取付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。)
 - ・高電圧のかかる絶縁測定器を使用しないでください。機器の故障の原因になります。
 - ・本灯具は一般屋内用器具です。下記のような使用環境、条件下では使用しないでください。
 - ・周囲温度が0~40℃を超える場所
 - ・粉じんが多い場所、振動が多い場所
 - ・可燃性ガス、腐食性ガスなどの発生する場所
 - ・浴室等、高温高湿になる場所
 - ・灯具が水のかかる場所
- ※使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、弊社までお問い合わせください。(Tel : 03-5763-6121)

■テープライトの切断・連結について

- ・テープライトの切断・連結の際は、必ず電源を落とした状態で作業を行ってください。
- ・テープライトの切断後は、付属のエンドキャップを接着剤などを使用して装着し、絶縁処理を行ってください。
- ・テープライトを連結する場合は、連結した合計の長さが「最大長さ」以内であることを必ず確認してください。
- ・各々のテープライトの最大長さは「■製品仕様」をご参照ください。
- ・最大長さを超えて使用すると商品破損、事故の原因につながり大変危険ですのでおやめください。
- ・連結した部分は、必ず絶縁処理を行って下さい。
- ・連結した灯具間が長くなる場合は、電圧降下に配慮して電気容量を確保した電線をご使用ください。

■テープライトの施工方法

- ・テープライト・スタンダードは弊社製強力両面テープで簡単に施工する事ができますが、弊社製取付ブラケットTP-01を併用することでより確実な取り付けを行うことが可能です。
- ・取付ブラケットの推奨固定間隔は以下の通りです。(要・強力両面テープ併用)
 - ・平置き(図1) : 固定間隔1m ~
 - ・壁付け(図2) : 固定間隔0.3 ~ 0.5m
 - ・天井付け(図3) : 固定間隔0.3 ~ 0.5m

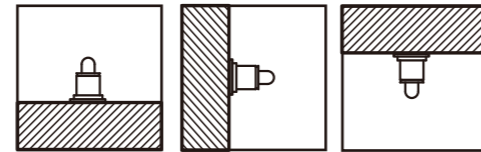
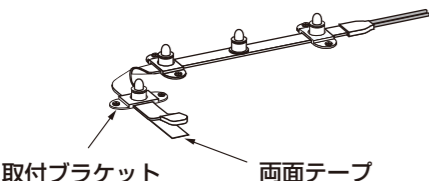




図1:平置き 図2:壁付け 図3:天井付け

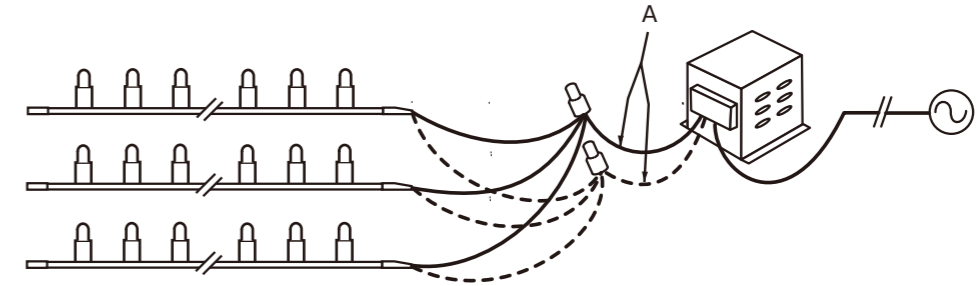
<p>折り曲げて取り付けするには</p>  <p>取付ブラケット 両面テープ</p> <p>ランプ間を持ち上げて曲げ、両面テープで取り付けます。前後に取付具を使用して浮き上がりを防いでください。</p>	<p>クリアベースを利用した取り付け</p>  <p>施工面にクリアベースをネジ止めし、強力両面テープを使ってテープライトを貼ります。より直線的に仕上げる事が可能です。</p>
<p>シーリング剤での取り付け</p>  <p>両面テープの接着力が低く、ネジを使用できない場所では、シリコーン製の弾性シーリング材を併用して固定してください。</p>	<p>※その他環境での取付方法については弊社までご相談ください。</p>

■トランスとの接続について

- ・灯具とトランスを接続される前に、灯具のランプ数がトランスの容量に適しているか確認してください。(下表参照)
- ・トランスの設置については、トランスに付属している取扱説明書をお読みいただき、設置環境や設置場所などにも十分にご配慮ください。
- ・標準出荷状態はリード線切り放しで出荷しております。給電線との接続には一般的な絶縁圧着スリーブなどを用いてください。
- ・図中A部には灯具の本数分の電気が流れることとなりますので、電線の容量に応じた線をご使用ください。
- ・特にトランスと灯具本体との距離が離れる場合は、電圧降下を十分加味した上で電線の選定を行ってください。

- ・ランプ近くに電線を這わせる場合は、熱劣化の少ない耐熱被覆の電線をご使用ください。

	TR-2100N	TR-2160N
TLP-_-101	112灯	180灯
TLP-_-105	55灯	88灯



■電圧降下について

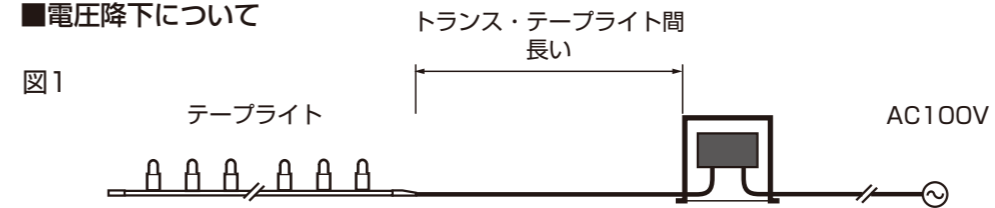


図1のような設置は電圧降下の影響により灯具に達する電圧が大きく低下するため、本来の明るさで点灯しません。やむを得ず図1のような設置を行う場合には、電圧降下の影響を最小限に抑えるためトランス・テープライト間に太い電線(抵抗値の低い電線)を使用してください。

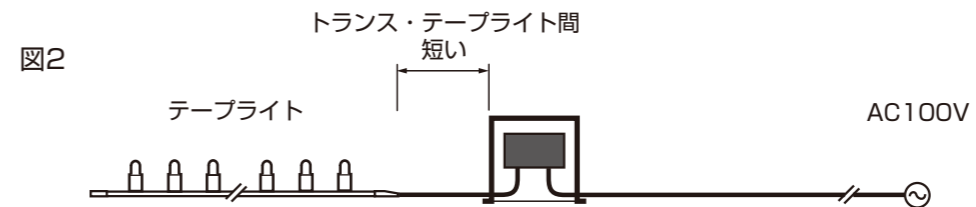


図2のようにトランスを灯具に隣接させ、電源供給部とトランス間の距離が長くなる設置条件では、電圧降下の影響は非常に小さくなります。